

迎春



本年も当組合をよろしくお願ひ申し上げます

輝かしい新年を迎えて

今金町農業協同組合 代表理事組合長

小田島 親守



新年明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より組合員の皆様、そしてご家族の皆様をはじめ、関係機関の皆様のご指導、ご支援を賜っておりますことに衷心より厚く御礼を申し上げます。

昨年は、6月の長雨により初期生育の不良や湿害が発生し、さらに8月末には台風10号により園芸施設や農業用倉庫をはじめ甚大な被害を及ぼしました。被災された皆様方にはあらためてお見舞い申し上げます。

国内の情勢を振り返りますと、政府の規制改革推進会議が現場を無視した性急な農協潰しを提言し、一部メディアもその流れを加速させるように「農協は生産者の経営発展を阻害する悪である」という誤った意図的なレッテル貼りを行っています。言うまでもなく農協は先人たちの苦難の末に生み出されてきた自主自立の協同組織であります。『自分だけよければ良い』といったような、個人至上主義・市場原理偏重という新自由主義的な考え方は、まさに非協同であり他人を押し

けてでも自分だけ得をしようという理不尽な欲望を協同組合は満たしてくれません。『組合員みんなの利益のために尽くすことが、自分の利益に還ってくる』これが協同活動の経済原理です。いずれにしても協同組合の原点・理念を要としながら、次世代に継承できる「力強い農業」の実現に向けて全力で取り組んで参ります。

また、29年度は第11次中期経営計画のスタートの年となります。農家組合員個々の顔の見える農協・小回りのきく農協として地域の特性を生かした事業展開により、組合員の経営と生活上・地域農業の振興を図ることを念頭に組合員の経営安定に努めて参ります。29年度営農指導基本方針・中期経営計画の基本方針に基づき健全なJAであることが組合員の負託に応えるものと信じ、役員一丸となって事業展開して参りますので、皆様のなお一層の事業結集とご協力をお願い申し上げます。

結びに、災害がなくご家族皆様が健康で豊穰の出来秋を迎えることができますよう心から御祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

平成二十九年元旦

代表理事組合長

小田島 親守

専務理事 内ヶ島 道良

常務理事 大場 倫夫

理事 黒須 隆之

理事 仁木 明

理事 山崎 仁

理事 境田 哲哉

理事 内ヶ島 祐一

理事 水口 仁

理事 成田 正春

代表監事 村本 正義

監事 上野 義則

員外監事 小田島 輝志

管理部長 荒川 英也

経済部長 長浜 隆之

金融部長 安齋 保

営農部長 工藤 裕之

新世代の担い手たち ～農業後継者激励会が行われました～



写真前列左より

松永悠佑さん 笹森綾香さん 平野亮介さん 仁木宏直さん

昨年11月、平成28年度農業後継者就農激励会が農協大会議室で行われました。平成28年度の農業後継者は、仁木宏直さん（経営者・仁木明さん）、平野亮介さん（経営者・平野俊春さん）、笹森綾香さん（経営主・笹森誠さん）、松永悠佑さん（経営主・松永政幸さん）の4名。
当日はJA役職員、JA青年部・JA女性部の役員が出席し、これからの地域農業を支える担い手に励ましと期待の言葉が数多くかけられました。

「美味しいね♪」子供たちの笑顔が溢れました♪



JA今金町女性部・青年部の部員らが昨年11月18日、町内の小・中学校、へき地保育所、認定こども園を訪れ、「今金産ゆめぴりかのおにぎり」、「今金男しゃくの塩煮」を児童生徒と一緒にいただきました。この活動は「ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日」と題され、今年で9年目を迎えました。生産者の作物に対する想い、育てる苦労を学び、郷土でとれた作物である『ふるさとの恵み』に感謝する心を育むきっかけになれば、という目的で行われています。

食材など必要なものの購入には「JAバンク教育活動助成（食育推進事業）」が充てられ、児童生徒たちの食育のために活用されています。

内容盛りだくさん！第55回農村女性文化祭



◀ 特殊詐欺についての講演の様子

JA今金町女性部による第55回農村女性文化祭が昨年12月に今金町民センターにて、盛大に行われました。

午前の部では、せたな警察署から「特殊詐欺に遭わないために！」と題し講演が行われ、午後の部では部員皆さん趣向を凝らした演芸発表を披露し、会場を沸かせました。また、手芸品や加工品も多数展示され来場者の興味をひきました。

今金町農協青年部「手作り看板」完成！



◀ 完成を祝しみんなで記念撮影

今金町農協青年部は昨年11月、27年度に引き続き看板制作を行いました。この取り組みは、地域住民等が共感を持つ手作りの看板を通じ、農業のある地域づくりの大切さをアピールすることを目的として行われており、27年度は「全国消費者団体連絡会賞」を受賞しています。

看板は町内国道沿いのJA倉庫壁面に掲示されていますので、ぜひご覧ください。

各地区で営農懇談会が行われました



◀ 予備日の様子
森川農業経営課長が進行しました

昨年12月、各地区で営農懇談会が開かれ、営農指導方針等について地区担当者から説明がなされました。また、予備日を設け地区会場に出席できなかつた方に向けて懇談会を開催しました。地域の課題を解決するためには、日頃からの話し合いがとても重要です。農協でも参加しやすい雰囲気作りを努めますので、女性や農業後継者の方の積極的な参加をお願いします。

JA今金町事業推進協議会が開かれました



◀ 会議では前向き・建設的な提案や質問が出されました

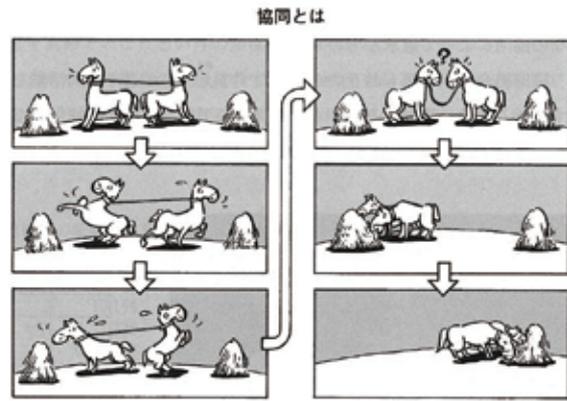
昨年11月、JA今金町事業推進協議会が開かれ各地区の代表者や生産部会代表者らが出席しました。

この協議会は、平成29年度から3カ年の計画となる「第11次中期経営計画」の内容を協議する目的で行われました。会議では、地域農業全体の課題やJA各部門の見通し・計画などについて話し合われました。策定後は、計画に基づき事業推進してまいります。

● 農協の愛称『JA』

JAとは Japan Agricultural Co-operatives (ジャパンアグリカルチャルコーポレイティブス=日本の農業協同組合)の略で、農業協同組合を象徴する愛称として1992年4月から使用されています。JA(農協)は、農業者が互いに連携し、助け合う事を意味する「相互扶助」の精神のもとに、農家組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築く事を目的として作られた協同組合です。

JAは主に、農業経営・生産技術・生活のアドバイス(指導事業)、農産物の販売(販売事業)、生産や生活物資の供給(購買事業)、資金調達や貯金(信用事業、一般で言う金融事業)、各種共済(共済事業、一般で言う保険事業)など色々な事業を、農家お互いのために行っています。



この絵は、お互いが身勝手にふるまうよりは、力を合わせることの大切さを教えている。
出典：日本生活協同組合連合会「生協とは」

いま改めて
考える

農業協同組合とは

協同組合と株式会社との違い

	協同組合	株式会社
目的	組合員の生産と生活を守り向上させる(非営利目的)	利潤の追求(利益の追求)
組織者	農業者、漁業者、森林所有者、勤労者、消費者、中小規模の事業者など(組合員)	投資家、法人(株主)
事業、利用者	事業は根拠法で限定、事業利用を通じた組合員へのサービス、利用者は組合員	事業は限定なし、利益金の分配を通じた株主へのサービス、利用者は不特定多数
運営者	組合員(その代表者)	株主代理人としての専門経営者
運営方法	1人1票制(人間平等主義に基づく民主的運営)	1株1票制(株主による運営支配)

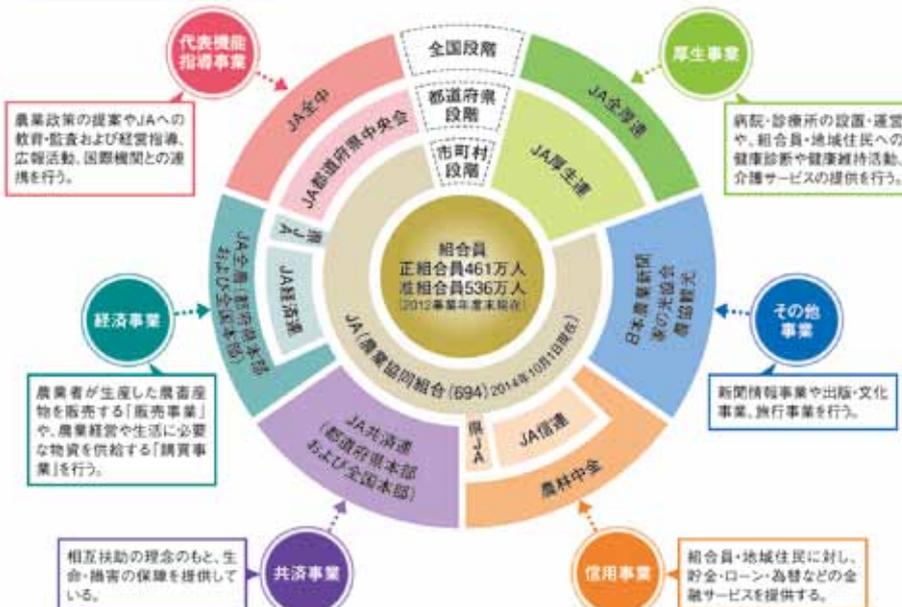


協同組合と株式会社では、設立の基本的な考え方や運営が大きく異なります。協同組合の目的は組合員の生産や事業、生活を守ること、利潤の追求ではありません。

さまざまなJA事業は、農家同士の助け合い「相互扶助」により、集めた資金で共同施設を作ったりローンを貸し付けできるようになり、農産物がまとまることで販売に交渉力を持ったり、共同購入によって資材価格の交渉力を持ったりと、優位性を持った営農や生活の確保と質を高めることが目的です。さらに、全道・全国的にJAグループとなってより力を発揮できるように組織されています。

組合員を支える JAグループ組織図

JAは、組合員を主役に多様な事業・活動を行う組織です。JAグループは農業者に必要な資材を調達する経済事業に加え、厚生・医療事業、共済事業、信用事業などさまざまな事業を展開しています。

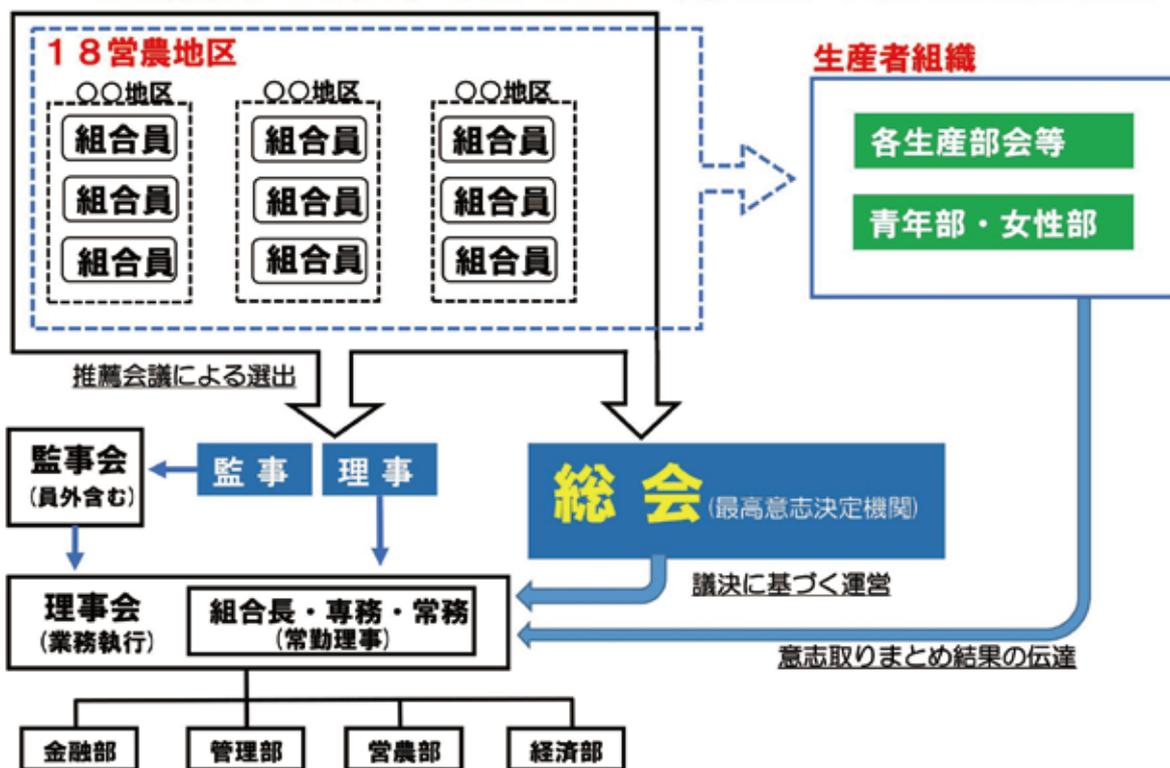


資料：農林水産省「総合農協統計表」(2012年度)

注) 統計JA数は、JA全中調べ

組合員の皆さんと今金町農協の関係概念図

意志決定のための仕組み・流れ



組合員の皆さんの意見を反映させるための仕組み・流れ

今金町農協の主人公とは誰でしょう？



三者は密接な関係で結ばれています。
信頼関係が大切です。
それぞれが果たすべき役割・行動基準をもっています。

協同の利益の実現・皆の幸せの実現

◇ 役員（役員）の役割・行動基準

- ・組合員の声を尊重し、誠実に職務を果たします。
- ・地域や自己の利益にとらわれず、組合員全体の幸せのため努力します。
- ・組合員に組合の方針、計画が理解されるよう適切に情報を伝えます。
- ・組合員の自主的組織活動が活発になるよう働きかけ、その育成に心がけます
- ・相手の立場を尊重し、組合内の調和をはかります。

◇ 組合員の役割・行動基準

- ・組合の事について進んで発言し建設的提言をします。
- ・協同活動に参加し、進んで事業や施設を利用します。
- ・協同の力で組合員同士の助け合いの輪を広げます。
- ・地域の中で、協同の利益を語り仲間づくりに努めます。
- ・会合には遅れず出席し、みんなの時間を無駄にしないようにします。

◇ 職員（職員）の役割・行動基準

- ・協同組合の基本理念と原則をよく理解し、組合員・役員とともに協同活動を推進します。
- ・組合の運営事業方針をよく理解し、計画達成に努力します。
- ・担当する職務の遂行のため自己研鑽・研修活動に努めます。
- ・日常の業務執行にあたり、誠実と公正を旨とします。
- ・組合の発展のための建設的な提言を積極的に行います。

権利と責任は表裏一体

- ・誰もが自由な営農をする権利があります。しかし、組合に参画している以上はルールやマナーを守らなければなりません。
- ・自分の行動や言動が周りに絶えず影響を与えることを知らなければなりません。
- ・皆がひとつになることで、一人で達成できないことも乗り越えることができます。

JAグループ通信：大会実践フォーラム特集



毎月、JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介しておりますが、今回は、1月2日に開催したJA北海道大会実践フォーラムで発信した「JAグループからのメッセージ」をお伝えします。

「JA北海道大会実践フォーラム」では、昨年の第28回JA北海道大会の決議事項に対する実践機運を高めることを目的に「農業所得20%増大」と「550万人サポーターづくり」をテーマとするパネルディスカッションと、JAグループからのメッセージとして決議事項の実践状況を発信しました。以降、メッセージの内容を掲載します。

JA北海道中央会

私たちは大会決議事項である「所得20%増」「担い手倍増」「サポーター550万人づくり」「JAグループの人づくり」等、息の長い取り組みを続けて行かなければなりません。今後も、協同の理念のもとで着実に実践を積み重ね、農業・JAの意義を積極的に発信し続けながら、北海道農業の価値を高めて行くことで道民や国民に信頼され愛されるJAグループになることを目指して参ります。



JA北海道信連

新規担い手倍増、農業所得増大の取り組みとして、各連合会が連携しての「後継者親元就農」「ICT導入」等へ助成支援する『担い手確保・育成支援事業』の実施や後継者等向けに借換による償還負担軽減を図る資金を創設しました。

また、550万人サポーターづくりとしてコンサドーレ通帳の発行、親子料理教室、「ドドーン貯金キャンペーン」の実施等、JAファンづくりに取り組みました。今後も、選ばれるJAバンクを目指して取り組んでまいります。



ホクレン

『販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営』を基本戦略とし、「価値向上」「生産性向上」「コスト低減」の実践を通じて「農業所得の向上」を目指すとともに、経営の合理化による配当の向上、主要品目全般における手数料の引き下げ、各種奨励施策の実施など、生産者・会員JAへの最大限の還元を努め「皆様に選ばれるホクレン」を目指します。



JA共済連北海道

「相互扶助」を事業活動の原点に「ひと・いえ・くるまの総合保障」により、組合員・利用者が健康で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献しています。

今後も引続き農業経営に貢献する取り組みと、JA支援の強化を重点事項として、地域密着の社会貢献活動を展開しながら組合員・利用者との結びつきを深めてサポーター550万人づくりに取り組みます。



JA北海道厚生連

厚生連は、設立以来「農民の健康保持と生活文化の向上」を目指し、安心して暮らせる地域社会と農村の環境づくりに寄与してまいりました。

今後についても、地域のつながりを守る生活基盤としての機能発揮と、道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりへの貢献を「医療・健康管理・高齢者福祉・配置薬」の視点から推進し、取り組んでまいります。



JA北海道厚生連のお得なキャンペーン

毎月20名
合計120名

対象商品3,000円(税込)毎のご購入で応募葉書をお渡し致します

北海道のおいしい幸せプレゼント

抽選で北海道のおいしい食品満載のホクレンギフトカタログをお届けします。
野菜、お米、お肉、加工食品、乳製品、水産物、麺類、お花など豊富なギフトの中からお選びいただけます。

選べる
カタログ



キャンペーン期間

平成28年10月1日～平成29年3月31日

応募方法

キャンペーン期間中対象商品のご購入3,000円(税込)毎に応募葉書を配置業推進員よりお渡し致します。葉書にご住所、ご氏名、電話番号をご記入のうえ、投函してください。

抽選方法

キャンペーン期間中の各月毎に、ご応募いただいた葉書を厳正な抽選のうえ、当選者を決定します。なお、キャンペーン最終月平成29年3月分のご応募は平成29年4月5日消印まで有効とさせていただきます。

賞品のお届け

当選者決定後、各月毎に賞品をお届けします。
なお、賞品の発送をもって当選者の発表に代えさせていただきます。

対象賞品

野菜酵素青汁
青汁に野菜酵素をプラス
3g×31包
2,376円(税込)

草苧譜Ⅱ・Ⅲ
温まってしっとりお肌
1,050g(約42回分)
2,571円(税込)

黒しょうが21世紀
近大サブリの黒しょうが
120粒(約30日分)
4,968円(税込)

青の贅沢
クリルオイル配合
45粒(1日1～3粒)
1,620円(税込)

商品のお求めは

配置業推進員

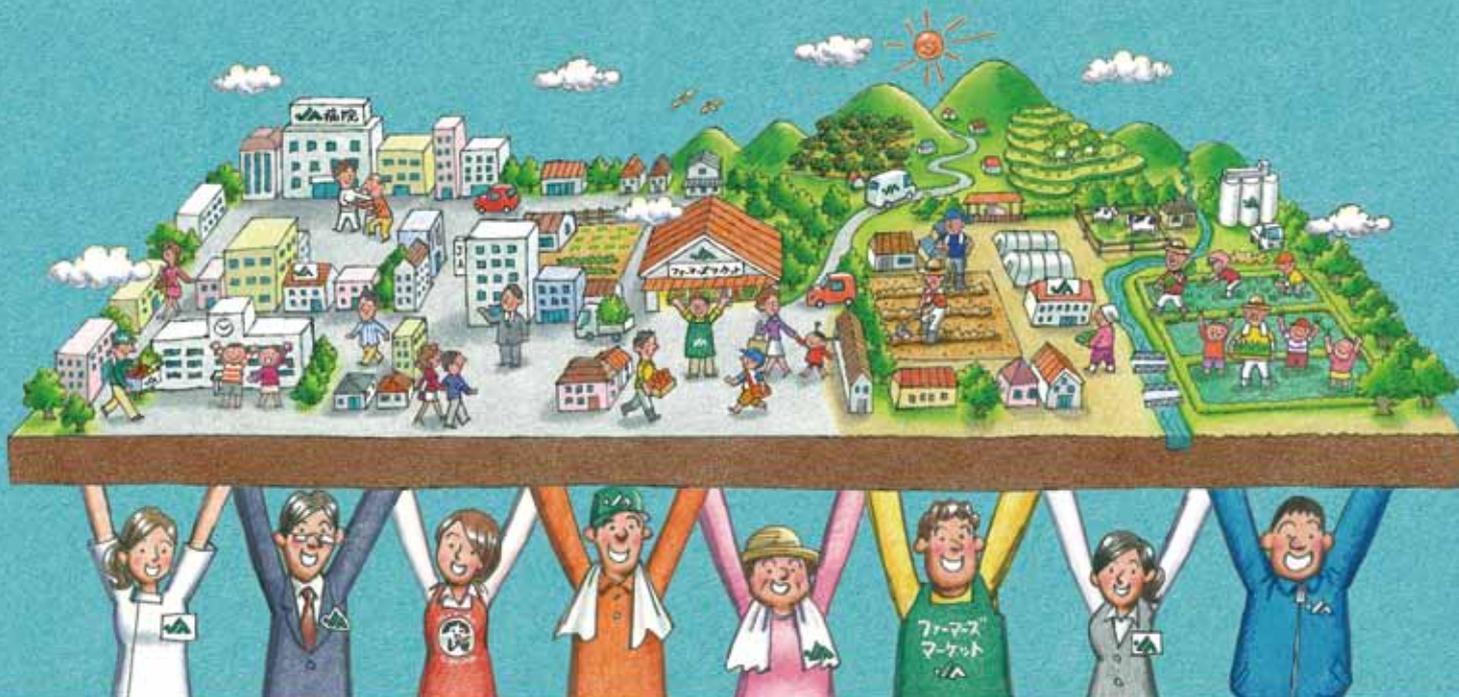
日置：090-8897-6524

商品、本キャンペーンに関するお問い合わせは

JA北海道厚生連 医薬事業部配置業課 通話無料0120-99-4193(受付時間、平日8:30～17:00)

あなたの暮らしのいろんな場面で、力になりたいJAです。

私たちJAは「互いに手を取り合い、支え合って、暮らしを良くしていく」という協同組合の理念のもと、食と農を中心とした、さまざまな事業・活動を行っています。これからも、地域でくらす皆さまのために、皆さまとともに。心をひとつにして、すべての人が安心できる地域づくりに取り組んでいきます。



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

JAグループホームページ | <http://ja-group.jp>